施設名：戸吹スポーツ公園

評価区分　A：目標や計画を上回る成果があったもの　B：目標や計画どおりの成果があったもの　C：目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

NO.	期末モニタリング報告書号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	4月 ～ 6月 指定管理者の自己評価 評価区分	コメント	所管課評価 評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	改善プラン 時期	内容	7月 ～ 9月 指定管理者の自己評価 評価区分	コメント	所管課評価 評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	改善プラン 時期	内容	所管課確認 対応状況	次年度対応
1			安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	個人情報の保護管理 ・有料運動施設の利用者の情報管理は、適切に行われているか ・要望苦情者の記録保存は適正か	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	B	・個人情報の保護管理は適切に行っています。 ・サッカー場、テニスコート、スケートパーク利用者、自主事業参加者等の個人情報については、当日の新規登録以外施錠できる書庫に保管しており、キーは管理事務所の限られた職員が管理をしています。 ・苦情要望、個人名が記載されてるものについてはファイルに整理して施錠できる書庫に保管しキーは限られた職員が管理をしています。 ・スケートパーク利用者の撮影などによる個人情報の管理については、利用規約に制限を謳い窓口や、場内放送で注意を促し徹底を図っています。	B	引き続き適切な保護管理を行うこと。	無				B	・個人情報の保護管理は適切に行っています。 ・サッカー場、テニスコート、スケートパーク利用者、自主事業参加者等の個人情報については、当日の新規登録以外施錠できる書庫に保管しており、キーは管理事務所の限られた職員が管理をしています。 ・苦情要望、個人名が記載されてるものについてはファイルに整理して施錠できる書庫に保管し、キーは限られた職員が管理をしています。 ・スケートパーク利用者の撮影などによる個人情報の管理については、利用規約に制限を明記し、窓口や場内放送で注意を促し徹底を図っています。	B	引き続き適切な保護管理を行うこと。。	無					
2			安全安心・危機管理（公園課）	遊具の点検 ・年1回の専門点検の実施状況は ・日常の点検はマニュアルなどを作成して実施しているか ・日常点検後の軽微な修繕についてどのようなものがあり、実施しているか（遊具の塗装、着地部の凹凸による水溜り、砂場の補充、据り起こし等）	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	A	・クライムロック、クライムツリーの遊具専門業者点検は、25年9月に実施を予定しています。 ・日常点検は、職員が毎日開閉園時に2回、スケートパークスタッフが2時間毎に8回原っぱ広場周辺巡回時に点検を行い点検手順が記載された「遊具点検・巡回表」に記録し保管をしています。 ・日常点検で発見された軽微な修繕については、その都度スタッフが実施するようにしています。今期は遊具に関しての修繕事項はありませんでした。 ・落下衝撃吸収マットは、スケートパーク倉庫で保管し、毎日開閉園時にスタッフが設置片付けを行いその際マットの点検を実施しています。 ・落下衝撃吸収砂場は、週一回掘り起しを行い砂の固化を防止し、毎日マットを設置する前に砂の表面の均し作業を行い、同時に砂に異物が紛れていないか点検を実施して安全を確保しています。	A	・専門点検については実施次第報告すること。 ・日常点検においては、現況のスタッフを有効に活用し1日に数回の点検を実施している事、実施内容を点検表にて管理を行っている事などきめ細かい管理が行われている。	無				A	・クライムロック、クライムツリーの遊具専門業者点検は、25年9月5日に実施しました。結果は、ネット端部処理2ヶ所と軽微なものでした。 ・日常点検は、職員が毎日開閉園時に2回、スケートパークスタッフが2時間毎に8回原っぱ広場周辺巡回時に点検を行い点検手順が記載された「遊具点検・巡回表」に記録し保管をしています。 ・日常点検で発見された軽微な修繕については、その都度スタッフが実施するようにしています。今期は遊具に関しての修繕事項はありませんでした。 ・落下衝撃吸収マットは、スケートパーク倉庫で保管し、毎日開閉園時にスタッフが設置片付けを行いその際マットの点検を実施しています。 ・落下衝撃吸収砂場は、週一回掘り起しを行い砂の固化を防止し、毎日マットを設置する前に砂の表面の均し作業を行い、同時に砂に異物が紛れていないか点検を実施して安全を確保しています。	A	・専門点検を受けての早急な修繕を実施したこと、また巡回を通じて破損、不具合等を発見し早急に対応するなどスタッフが担当する業務のみに捉われることなく行われていた。今後も同様な管理を実施すること。	無					
3			安全安心・危機管理（公園課）	利用者への対応 ・利用案内等を適切に行っているか。 ・条例、規則、利用ルールやマナーに反する者に対し、適切に注意・指導を実施しているか	現地の確認 ヒアリング 定期報告	A	・公園利用者には、掲示板やホームページ、定時園内放送で利用案内を行い、またスタッフが受付時、巡回時に声をかけて周知を図るようにしました。また、掲示物については利用者が注目でき、理解しやすく公園の雰囲気に合うものを作るようにかけました。 ・運動施設の利用者には、新規受付時に会場責任者に利用規則の案内チラシを提示し確認のサインをいただき他利用者にも周知を図るように要請をしました。 ・スケートパークの利用者には、利用者登録申請書に誓約欄を設け、ルール―マナーの厳守の徹底を図りました。 ・公園内喫煙、更衣室以外での着替え、アルコールを帯びての運動施設利用など発覚した場合はルールを説明しご理解を戴くように指導をしました。個人、大会や、試合の参加者の違反行為が横行した場合は、施設利用、大会や試合の開催の制限措置を実践しました。	A	・多くの利用者が公平かつ快適に利用できるよう提案、実施がされている。ルールに反する者に対しては、利用を制限するなど毅然とした対応は評価する。今後も適切な管理運営を実施すること。	無				A	・公園利用者には、掲示板やホームページ、定時園内放送で利用案内を行い、またスタッフが受付時、巡回時に声をかけて周知を図るようにしました。また、掲示物については利用者が注目でき、理解しやすく公園の雰囲気に合うものを作るようにかけました。 ・運動施設の利用者には、新規受付時に会場責任者に利用規則の案内チラシを提示し確認のサインをいただき他利用者にも周知を図るように要請をしました。 ・スケートパークの利用者には、利用者登録申請書に誓約欄を設け、ルール―マナーの厳守の徹底を図りました。 ・公園内喫煙、更衣室、以外での着替え、アルコールを帯びての運動施設利用など発覚した場合はルールを説明しご理解を戴くように指導をしました。個人、大会や、試合の参加者の違反行為が横行した場合は、施設利用、大会や試合の開催の制限措置を実践しました。	A	・サッカー場利用者による更衣についてのルールを守れない苦情については大会を開催する団体へ厳しく注意をし改善させた事。また、大会開催時には利用別に駐車場を区分し案内と誘導のため警備員を常駐させる等、適切かつ素敵に対応が行われた。	無					
4			安全安心・危機管理（公園課）	園路広場などの草刈り ・延べ作業面積・回数はクリアーできているか ・作業時期は適正か ・現地での要望には対応できたか。（要望の有無、有の場合は内容と対応も記入願います。） ・現地の実態はきれいか	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	B	・作業面積、回数は計画をクリアーした上で、気候の状況を考慮して施行開始時期を調整して作業を実施しました。 ・今期は、国体のターゲットバードゴルフ競技会場である原っぱ広場の除草を主催協会と協議を行い、ブレ大会に合わせ作業を実施しました。 ・利用者が増加する5月の連休中に公園の美観を保持するように計画し作業を実施しました。	A	・現場の作業状況は来園者の安全の確保を図っており、適正な作業が実施されていた。また、使用団体やイベントに合わせて計画を立て実施されたことは評価する。	無				A	・国体の競技場にふさわしい会場を提供するために、管理の実施時期の調整を行い、会場の原っぱ広場のコンディションが良い状態を維持できるように努めました。 ・作業面積、回数は計画をクリアーした上で、気候の状況を考慮して施行開始時期を調整して作業を実施しました。 ・利用者が増加する夏休み、国体開催期間に公園の美観を保持するように計画し作業を実施しました。	A	・原っぱ広場が競技会場になったり、隣接地の競技会場の駐車場として提供する等、通常業務以外の業務が発生したが、柔軟かつ的確に対応をしたことを評価する。	無					
5			安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	運動施設管理 ・点検チェックシートを作成し、毎日点検をしているか ・サッカー兼ラグビー場及びテニスコートの日常点検をしているか ・サッカー兼ラグビー場及びテニスコートの定期整備をしているか ・U字溝の清掃をしているか ・日常の修繕（特にゴムチップ補充・硅砂補充・スケートパークの補修）をしているか ・備品類も点検チェックシートを作成し、適宜点検をしているか ・施設の貸し出しは、条例等を遵守しているか ・スケートパークの利用について、ルールが守られているか	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	A	・開閉場前の職員巡回時に、サッカー場、テニスコート、スケートパークの点検を実施し「巡回報告書」に記録をしている。スケートパークスタッフが毎日開閉場時点検と清掃を実施し、問題点は、日報に記録をしています。 ・定期整備（U字溝清掃）は事業計画書に則り実施しました。サッカー場は5月、スケートパークは4月、テニスコートは4.5月に実施。 ・日常点検で発見された修繕については、軽微なものについてはその都度処置を行い日報に記録をしました。 ・備品についてはチェックシートを作成し、月に一度点検確認を行いました。 ・運動施設備品については、備品貸出し簿を作り、貸出し時と返却時に職員が数量を確認して管理を実施しています。 ・施設の貸出しについては、条例、運営規則を順守し公平・公正に対応をおこないました。	B	運動施設の日常点検及び定期整備については、引き続き実施すること。今後も利用者に見てもらえる看板作りを検討し実施すること。	無				A	・大会や、試合が多い夏休みに向け、競技施設の不備で利用者に迷惑がかからないように、巡回を強化し、サッカーゴールのネットのほころびの修補や、人工芝の窪みのゴムチップの充填、スケートパークのクラックの補修など事故やトラブルを未然に防ぐことを念頭に実施をしました。 ・熱中症対策として、日陰けシートを設置を実施しました。 ①テニスコート横通路。②スケートパークボウウルエリア③スケートパーク前広場テント ・開閉場前の職員巡回時に、サッカー場、テニスコート、スケートパークの点検を実施し「巡回報告書」に記録をしている。スケートパークスタッフが毎日開閉場時点検と清掃を実施し、問題点は、日報に記録をしています。 ・日常点検で発見された修繕については、軽微なものについてはその都度処置を行い日報に記録をしました。 ・備品についてはチェックシートを作成し、月に一度点検確認を行いました。 ・運動施設備品については、備品貸出し簿を作り、貸出し時と返却時に職員が数量を確認して管理を実施しています。 ・施設の貸出については、条例、運営規則を遵守し、公平・公正に対応をおこないました。 ・スケートパークの利用については、25年度の更新時期に合せ、スポーツ施設管理課と協議を重ね、利用規約と申請書の書式見直しを行い、よりルールの徹底がなされるように改善を図りました。 ・注意看板、ルール説明看板のロゴの見直しを行い、イラスト中心の判り易いものに更新をしました。	A	運動施設の日常点検及び定期整備については、引き続き実施すること。 利用者サービス向上のための日陰けシートの設置は評価する。 国体開催による協力・対応は感謝するとともに評価する。	無					
6			安全安心・危機管理（公園・スポーツ振興課）	人員配置・研修体制 ・事業運営を計画に沿った体制で実施しているか。計画通りの人員スタッフが確保されているか ・執行体制に工夫はみられるか ・スタッフ研修は充実しているか	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	B	・計画通りに配置された人員の配置体制で事業運営を実施しています。 ・専門分野の配置のスタッフも公園運営管理全般を担当するマルチスタッフという心構えで、専門分野に影響を及ばさない範囲で施設整備など直営で作業を行い、側溝清掃など計画以上の頻度で作業を行うことができた。	A	・大きな大会や利用者が多い日等は主催者側にも協力を依頼し、警備員を配置するなど、様々な工夫をし協力を得ながら管理を行っていた。	無				B	・前年度、一部顧客対応に問題が指摘を受け接遇研修会を戸吹会館で実施。全スタッフの受講をおこなった。 ・今期に入り骨折などのケガが増加し、ケガ人と救急車の対応が頻繁になり、対応の遅れや、誤認を防止するために、八王子消防署小宮分室の署員による救急救命、初動対応、心肺蘇生講習会を実施しました。 ・計画通りに配置された人員の配置体制で事業運営を実施しています。 ・専門分野の配置のスタッフも公園運営管理全般を担当するマルチスタッフという心構えで、専門分野に影響を及ばさない範囲で施設整備など直営で作業を実施した。 ・今期の研修は以下の通りです。 ・接遇研修受講者14名（他外部参加者3名） ・心肺蘇生・緊急措置研修11名 ・上級救命講習受講者2名	B	・配置スタッフが全員が運営管理に関わるという心構えは、今後も是非継続し、不足している知識があれば研修等を通じて補うこと。	無					
7			安全安心・危機管理（公園課）	第三者委託 ・市との事前の協議など、協定書通りの執行がなされているか ・第三者委託の事業水準は適正か ・経費削減の取り組みや工夫はみられるか	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	B	・協定書通り、執行を行っています。 ・第三者委託の作業は報告書の提出とともに随時現場に立会い事業水準が適正であることを確認しています。 ・大会時の駐車場の利用台数の把握を事前報告という指定管理者の要請が主催者側の理解が浸透し、交通誘導員の配置が計画的にでき経費の軽減に繋がっています。	B	・第三者委託については協議書の提出があり、選定理由も適切であった。	無				B	・協定書通り、執行を行っています。 ・第三者委託の作業は報告書の提出とともに随時現場に立会い事業水準が適正であることを確認しています。 ・大会時の駐車場の利用台数の把握をするために、駐車台数を制限する要請の理解が浸透し、交通誘導員の配置が計画的にでき経費の軽減に繋がっています。 ・経費節減対策として今期より、サッカー・ラグビー場の側溝清掃などで堆積したゴムチップを再利用するために、蓄積したチップを洗浄、振るい掛けをすることにより利用に耐えうる状態にし人工芝の窪みなどの充填に利用し、経費の節減を行った。	B	・専門点検を受けての早急な修繕を実施したこと、また巡回を通じて破損、不具合等を発見し早急に対応するなどスタッフが担当する業務のみに捉われることなく実施していることなど、今後も同様な管理の実施をお願いしたい。	無					
8			安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	LAS－Eに沿った事業運営が行われているか	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	B	・環境マネージメントシステムの目標を理解し、事務所エアコン、公園灯、夜間照明の点灯時間を最小限にする運営を行いました。 ・伐採木、剪定枝の再利用を実施しました。 ・ミスコピー等のメモ用紙利用、プリントアウト試し刷り用紙への再活用を引き続き行いました。 ・資源の有効活用推進の為に、剪定枝、伐採樹木の幹枝を利用して自然環境を身近に感じてもらうようにイーゼル型の看板の更新や新設の他に、手洗い所各所に太い枝をくりぬいた「アイビーの一輪挿し」を設置した。	B	資源の有効活動を行う努力がみられる。今後も新たな取り組みを行うこと。	無				A	・経費節減を含め、廃棄物として扱う予定の側溝清掃時のゴミを選別してゴムチップの再利用を始めました。 ・環境マネージメントシステムの目標を理解し、事務所エアコン、公園灯、夜間照明の点灯時間を最小限にする運営を行いました。 ・伐採木、剪定枝の再利用を実施しました。 ・資源の有効活用推進の為に、剪定枝、伐採樹木の幹枝を利用して自然環境を身近に感じてもらうようにイーゼル型の看板の更新や新設を行いました。	B	引き続き適切に管理すること。	無					
9			安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	要望苦情の処理 ・件数や傾向の推移＝年度別、時期毎 ・迅速性、公正公平性が確保され、適切に処理されているか ・個人情報の扱いは適切か	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	B	・市を通しての苦情については、報告書を作成し管理事務所全員に回覧を行い情報の共有を図り、個々のスタッフで対応に差が生じない様に取り組みを行っています。今期2件です。 ・要望、苦情シートはファイリングし、施錠できる保管庫に保存して情報の管理を行っています。	C	職員接遇に対する利用者からの声があった。利用者の立場になった誠意ある対応をするよう心がけること。 利用者からのホームページ上の問い合わせメールフォームまたは目安箱の設置はどのようになっているか改善プランに記載すること。	有	・「目安箱」の役割を担う「利用者の声」、10月から常設に向け、運用、書式など検討をおこなった。	B	・10月から「利用者の声」常設に向け、運用、書式など検討を実施しました。 ・市を通しての苦情については、報告書を作成し管理事務所全員に回覧を行い情報の共有を図り、個々のスタッフで対応に差が生じない様に取り組みを行っています。 ・要望、苦情シートはファイリングし、施錠できる保管庫に保存して情報の管理を行っています。	B	10月から目安箱を常設できるようにしっかりとした準備をすること。	無					
10			安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	利用者満足度調査の実施と反映 ・満足度調査の実施 ・利用者満足度向上会議の開催	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	B	・公園アドプト団体の活動用具置き場スペース確保のために物置の購入を行い、景観を損なわないよう配慮して設置を行いました。 ・地元戸吹町会の管理施設である、戸吹会館の活用をするように自主事業の雨天時の会場として利用可能か協議を行いました。 ・戸吹スポーツ公園周辺の関連公共施設の連絡団体である、連絡協議会への提言をまとめ。7月の定例会の準備を行いました。	C	前年度の利用満足度調査の結果をどのように業務反映しているか。	有	・今年度の事業方針に利用者満足度向上委員会で決定した項目を改善項目と定め、期中を通し改善するようにしています。 ①利用手続きの簡素化 ②施設利用のし易さの向上 ③建物内の共有スペースの清潔さの保持 ④受付業務、スタッフの対応の向上 対応策 ①スケートパーク受付業務のOA化の検討を行う。導入システムの選択、インフラ整備の調査を実施。 ②・スケートパークの路面整備 ・夏場の公園内の日除けの検討。 ③清掃スタッフ不在時間帯のトイレ、更衣室、休憩室の清掃を受付スタッフにて実施するように業務の改善を図った。 ④より効果的な接遇研修を実施するために、外部講師の選定を行う。	B	・国民体育大会の開催に合わせ、アドプト団体と協働で会場の整備を実施し、大会を無事に終了することができました。	B	今年度の調査に向けた十分な準備をすること。	無					

NO.	東京モニタリング細目番号	期	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	4月 ～ 6月							7月 ～ 9月							所管課確認	
							指定管理者の自己評価		所管課評価			改善プラン			指定管理者の自己評価		所管課評価			改善プラン			
							評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容		評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
11				安全安心・危機管理（公園課）	地域や公園アドプト団体との連携や協働 ・利用者や地域住民との意見交換機会 ・公園アドプト団体の立ち上げ支援 ・防犯・防災対策の実施、地域の祭り・行事への協力	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	B	・公園アドプト団体の活動用具置き場スペース確保のために物置の購入を行い、景観を損なわないよう配慮して設置を行いました。 ・地元戸吹町会の管理施設である、戸吹会館の活用をするように自主事業の雨天時の会場として利用可能か協議を行いました。 ・戸吹スポーツ公園周辺の関連公共施設の連絡団体である、連絡協議会への提言をまとめ。7月の定例会の準備を行いました。	B	・休館所内の掲示物、HP等からは最新の情報が発信されており利用者に対し適切に発信されている。	無			B	・国民体育大会の開催に合わせ、アドプト団体と協働で会場の整備を実施し、大会を無事に終了することができました。	B	・利用者増を図るためにも、今後も多くの情報をスタッフ全員で共有できる体制を継続願いたい。	有	第三四半期	・利用者の声については第3四半期に記載します。		
12				安全安心・危機管理（公園・スポーツ振興課）	自主事業の取り組み ・サッカー教室、ラグビー教室、テニス教室、ウォーキング教室、ジョギング教室 ・健康維持・増進系のイベント ・ネイチャーゲーム、イニシアティブゲーム、アウトドア教室、クラフト教室	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	A	・自然観察事業：「バードコール作り」を実施しました。 ・地域参加型スポーツ事業：主に、八王子市内の小中学校を対象とした「小学生テニス大会」「中学生テニス大会」を実施し地域のコミュニティ構築を図りました。 ・スポーツ事業：「テニス大会（男女ダブルス、ミックスダブルス、ミックス団体）」「テニスクリニック」「スケートボード教室」を実施しました。 ・健康維持・増進事業：「パークヨガ」を実施しました。 ・販売事業：①自動販売機による清涼飲料水の販売。 ②管理事務所にてスケートボード保護用具ヘルメット、パット類の販売を行いました。	B	更に公園利用者増となる企画の開催を望む。	無			A	・環境保全学習・自然観察事業：「作ろう昆虫図鑑」 クラフト教室「作ろう昆虫模型」を実施しました。 ・スポーツ事業：「テニス大会（男女ダブルス、ミックスダブルス、ミックス団体）」「テニスクリニック」「スケートボード教室」を実施しました。 ・「湯ったり館」協働事業・健康維持・増進事業：「パークヨガ」「いきいきウォーキング教室」を実施しました。 ・販売事業：①自動販売機による清涼飲料水の販売。 ②管理事務所にてスケートボード保護用具ヘルメット、パット類の販売を行いました。	A	・様々な自主事業を積極的に実施していた。また、湯ったり館との協働事業についても初の試みとして行っており、今後もサービス向上に向けた多くの事業を実施されたい。	無				
13				安全安心・危機管理（公園課）	「八王子市戸吹湯ったり館」との連携 ・広告宣伝に関する施策 ・相互施設利用に関する施策 ・利用促進に関する施策	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	B	・最新の情報を交換し掲示物やパンフレットの更新、展示を継続して実施しました。 ・健康維持・増進系のイベント（パークヨガ）の協働開催について協議を実施しました。	B	・募集時のプレゼンで提案していた、「戸吹湯ったり館」との連携を今年度はどのように図っていくか（強化していくか）記載すること。	有	・それぞれのイベントに、お互いの強みを生かす企画を行う。湯ったり館利用サービス券付きイベントの開催。 ・健康増進企画において、相互施設利用を実施する。		B	・第一四半期で協議を実施した、健康維持・増進系のイベント（パークヨガ、いきいきウォーキング）を協働開催しました。 ・今後の協働事業の取り組みについて中断していた会議を実施するよう調整を始めました。	B	・第一四半期での指摘事項をすぐに反映させ、実施までしたことはを評価する。今後も新たな事業の実施向け取り組みをすること。 ・湯ったり館との協働事業については実施に向け協議をすること。	無				
14				安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	広報（情報発信） ・多様な手段で公園の情報提供を行っているか ・ホームページの開設 ・イベント情報の広報掲載、チラシ配布	現地の確認 ヒアリング 書類確認 定期報告	B	・「八王子市報」への掲載をしました。9件 ・一般雑誌「POPEYE」「BE-PAL」への公園、スケートパークの掲載の対応をしました。2件 ・テレメディア・多摩ケーブルテレビへ当公園のイベントの取材要請依頼を行いました。2件 ・八王子市インフォメーションセンターへパンフ配布の依頼をしました。200部 ・八王子市各公園、施設へイベントポスター掲示をして頂きました。4施設。 ・地域連携民間会社へイベントポスター掲示をお願いしました。2件 ・コンソーシアム関連指定管理拠点との情報交換を行いました。（イベント紹介、パンフレット配布）	B	・引き続き、広報・周知活動を行うこと。	無			B	・「八王子市報」への掲載をしました。10件 ・一般雑誌「POPEYE」「GO-OUT」への公園、スケートパーク取材対応をしました。2件 ・八王子市各公園、施設へイベントポスター掲示をして頂きました。4施設。 ・地域連携民間会社へイベントポスター掲示をお願いしました。2件 ・コンソーシアム関連指定管理拠点との情報交換を行いました。（イベント紹介、パンフレット配布） ・八王子記者クラブへイベントの紹介を行いました。	B	・今後も様々な手段を用いて情報の発信を行い、利用者のサービス向上に努めること。	無				

施設名：戸吹スポーツ公園

NO	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	10月 ～ 12月 指定管理者の自己評価 評価区分	コメント	所管課評価 評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	改善プラン 時期	内容	所管課確認 対応状況	次年度対応	1月 ～ 3月 指定管理者の自己評価 評価区分	コメント	所管課評価 評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	改善プラン 時期	内容	所管課確認 対応状況	次年度対応
1			安全安心・危機管理 （スポーツ振興課）	個人情報の保護管理 ・有料運動施設の利用者の情報管理は、適切に行われているか ・要望苦情者の記録保存は適正か	B	・前期に引き続き、個人情報の保護管理は、適切に実施しました。 ・個人情報を公的機関から入手し事件となったのを受け、窓口や電話において問い合わせの対応する際には本人確認の徹底と適正な個人情報の取り扱いについて周知徹底を強化した。	B	引き続き適切な保護管理を行うこと。。	無						B	・前期に引き続き、個人情報の保護管理は、適切に実施しました。 ・25年度の個人情報を整理し、保管用ファイルにとじ直し、保管準備を開始しました。 ・26年度用の題字のファイルを作製し混乱を避けるよう準備を行いました。 ・八王子市の新しい施設予約システムへの移行にともない取扱い指導を受け、適正な個人情報の取り扱いができるよう事務所スタッフ会議にて講習をおこないました。 ・新年度に向け、スケートパークの登録者カードの個人情報に係る記載事項の簡素化を図り紛失時の個人情報の流出防止を図りました。	B	引き続き適切な保護管理を行うこと。	無				
2			安全安心・危機管理 （公園課）	遊具の点検 ・年1回の専門点検の実施状況は ・日常の点検はマニュアルなどを作成して実施しているか ・日常点検後の軽微な修繕についてどのようなものがあり、実施しているか （遊具の塗装、落地部の凹凸による水溜り、砂場の補充、掘り起こし等）	A	・日常点検および点検後の軽微な修繕は、前期通り適切に実施しました。 ・クライムロックからの転落の措置が必要ではとの指摘があり、転落注意喚起看板を4方所に設置しました。	A	・指摘事項については早急に対応ができた。今後は指摘事項を受ける以前に自ら危険、注意箇所に対しては積極的な注意喚起を行うこと。	無						A	・日常点検および点検後の軽微な修繕は、前期通り適切に実施しました。 ・記録的大雪の後は、特に重点的に点検を実施し安全を確認しました。 ・雨あがり後の滑り台、手摺りの水滴の処理には留意し、事故が起きないよう対応を行っています。	A	巡回回数、時間については巡回表を基に計画以上に実施していた。	無				
3			安全安心・危機管理 （公園課）	利用者への対応 ・利用案内等を適切に行っているか。 ・条例、規則、利用ルールやマナーに反する者に対し、適切に注意・指導を実施しているか	A	・業務活動は、前期の通り適切に実施しました。 ・公園利用者が多いシーズンにともない、通常の掲示板やホームページ、定時園内放送で利用案内の頻度を増やした。またスタッフの受付時、巡回時での声かけ・あいさつを強化し防犯にも配慮するようにしました。 ・国体開催に向け、運動施設利用制限の告知と周知を心がけ、HPやチラシなどを作製し錯誤が無いようにしました。	A	イベントに対する告知、特に今期は国体開催のため施設利用の変更があったが、適切かつ充分な告知を行った結果、混乱を招くことなく実施された	無						A	・業務活動は、前期の通り適切に実施しました。 ・運動施設、公園施設を利用したクラブチームや、高校チームが更衣室使用終了後自主的に清掃を行うようになった。利用指導や日常のスタッフの活動の成果が顕れてきたと思われる。 ・スケートパークの26年度利用登録カードの更新前に、利用ルールの見直しや申請書の書式の一部変更を担当所管と協議を行い、利用者の利便性の向上を図りました。 ・スケートパーク利用登録の更新を徹底するように各所に看板を設置し周知に努めました。 ・市の施設利用システムの新規導入に伴い、担当所管の指導のもと、円滑に移行できるようにスタッフ研修、OJTにより利用者に支障なく業務を進めることができました。	A	・利用者に対する指導、コミュニケーションがよく図れてきた。また、利用者の利便性を高めるべく多くの協議を重ね変更をしたことについて評価する。	無				
4			安全安心・危機管理 （公園課）	園路広場などの草刈り ・延べ作業面積・回数はクリアーできているか ・作業時期は適正か ・現地での要望には対応できたか。（要望の有無、有の場合は内容と対応も記入願います。） ・現地の実態はきれいか	A	・秋の子楽シーズンと現状を判断し、適期に作業が終了し、利用者が快適に過ごせる環境を配慮し植栽管理を実施しました。	A	・現地にて作業を確認したが、来園者に対する安全の確保、作業時期、内容も適正であった。また、国体開催に伴い各団体及び市からの要請にも柔軟に対応した。	無						A	・2月に記録的大雪があり、供用部植栽高木だけでは無く、既存林の高木にも枝幹折れが発生したために、これまでの立ち枯れの樹木を含め安全確保と景観保全のために処理作業を実施しました。 枯損木伐採8本 枝幹折れ処理5本	A	・大雪の対応については、除雪に続き枯損木の対応も速やかに行った。	無				
5			安全安心・危機管理 （スポーツ振興課）	運動施設管理 ・点検チェックシートを作成し、毎日点検をしているか ・サッカー兼ラグビー場及びテニスコートの日常点検をしているか ・サッカー兼ラグビー場及びテニスコートの定期整備をしているか ・U字溝の清掃をしているか ・日常の修繕（特にゴムチップ補充・砕砂補充・スケートパークの補修）をしているか ・備品類も点検チェックシートを作成し、適宜点検をしているか ・施設の貸し出しは、条例等を遵守しているか ・スケートパークの利用について、ルールが守られているか	A	・前期に引き続き園内施設の点検、確認を実施しました。 ・側溝清掃は事業計画書一回/年にとらわれず、豪雨時に支障が無いように点検、清掃を実施しました。 サッカー場は10～1月、スケートパークは10, 11, 12月、テニスコートは10月に実施。	A	側溝清掃等運動施設の日常点検及び定期整備については、回数にとらわれず適時実施されていた。今後も引き続き実施すること。	無						A	・前期に引き続き園内施設の点検、確認を実施しました。 ・2月の記録的大雪の際は、除雪作業を計画的に実施し、早期の復旧に努めました。特に、スケートパークコンクリート路面、テニス・サッカー場の人工芝の保全には十分配慮した除雪作業を実施しました。 ・スケートパークの利用については、26年度の更新時期に合せ、スポーツ施設管理課と協議を重ね、利用規約の見直しを行い、安全の徹底と利用者の利便性の向上がなされるように改善を図りました。 ・アンケート調査で常に不満が出る窓口利用申請の書式を根本的に見直し、他の市運営の施設のものも参考にして改訂を実施しました。	A	利用者の立場に立った窓口利用申請書の改善、施設維持管理を評価する。	無				
6			安全安心・危機管理 （公園・スポーツ振興課）	人員配置・研修体制 ・事業運営を計画に沿った体制で実施しているか。計画通りの人員スタッフが確保されているか ・執行体制に工夫はみられるか ・スタッフ研修は充実しているか	B	・計画通りに配置された人員の配置体制で事業運営を実施しました。 ・今期の研修は以下の通りです。 ・接遇研修受講者14名（他外部参加者3名） ・心肺蘇生・緊急措置研修11名 ・上級救命講習6名	B	・計画通り配置されていた。	無						B	・記録的大雪の影響で各施設とも閉鎖状態が続きましたが、夜間の部のスタッフを昼に配置し、専門分野に影響を及ばさない範囲で除雪作業を協力して行い復旧に努めました。計画した人員の体制で事業運営を実施しました。 ・巡回時ジョギングコースにて転倒者を発見し、救急の対応を行い深刻な事態を予防することができました。各講習会の効果が結果として現れたかたちになりました。 ・今期の研修は以下の通りです。 上級救命講習3名	A	・2回の大雪で、除雪作業に従事したスタッフの方々については大変な労力を費やした。施設再開に向けての配置変更、休園措置を取るなど管理者としての判断は適切だった。	無				
7			安全安心・危機管理 （公園課）	第三者委託 ・市との事前の協議など、協定書通りの執行がなされているか ・第三者委託の事業水準は適正か ・経費削減の取り組みや工夫はみられるか	B	・協定書通り、執行を行っています。 ・第三者委託の適正確認は引き続き実施しました。 ・駐車場誘導員の計画的配置で経費の軽減化を引き続き図りました。 ・第2四半期同様ゴムチップを再利用する作業を行い経費削減を行いました。	B	・経費削減については今後も継続し実施すること。	無						B	・協定書通り、執行を行っています。 ・第三者委託の適正確認は引き続き実施しました。 ・経費節減対策として行っているサッカー・ラグビー場の側溝に堆積したゴムチップの再利用と同じように、除雪後の堆積した雪の跡や、側溝内の砂を洗浄、振るい掛けをしてテニスコート人工芝整備に再利用し、経費の節減を行いました。 ・運動施設大会利用時の交通誘導を主催者スタッフで行うように事前の打合せで要請をして、経費削減と安全確保を図りました。	B	・今期についても経費削減、第三者委託について適切に執行されていた。	無				
8			安全安心・危機管理 （スポーツ振興課）	LAS－Eに沿った事業運営が行われているか	A	・経費節減を含め、廃棄物として扱う予定の側溝清掃時のゴミを選別してゴムチップの再利用を継続。 ・環境マネージメントシステムの目標を理解し、事務所エアコン、公園灯、夜間照明の点灯時間を最小限にする運営を行いました。 ・資源の有効活用推進の為に、剪定枝、伐採樹木の幹枝を利用して自然環境を身近に感じてもらうように転落防止注意看板、「みんなの声投稿箱」、「花挿し」を作りました。	B	引き続き適切に管理すること。	無						B	・除雪の堆積雪の溶解後の砂、ゴムチップを集めて再利用を実施。 ・環境マネージメントシステムの目標を理解し、事務所エアコン、公園灯、夜間照明の点灯時間を最小限にする運営を行いました。 ・資源の有効活用推進の為に、剪定枝、伐採樹木の幹枝を利用して自然環境を身近に感じてもらうように立入禁止柵、「トイレ清潔利用お願い」ポップスタンドを作りました。	B	引き続き適切に管理すること。	無				
9			安全安心・危機管理 （スポーツ振興課）	要望苦情の処理 ・件数や傾向の推移＝年度別、時期毎 ・迅速性、公正公平性が確保され、適切に処理されているか ・個人情報の扱いは適切か	B	・市を通しての要望・苦情、またそれにともなう個人情報の扱いは前期同様適切に行っています。苦情0件 ・苦情の要因である窓口対応の向上を図る為、スタッフ全員参加の外部講師を招へいして「接遇研修」を実施しました。 ・10月から「利用者の声」運用開始。投稿件数3件。（賞賛3件） 回答欄に公園運営者としてのコメントを記入して、休憩室に「ご意見・ご返事公開ボード」を常設し常に閲覧できるようにしました。	B	利用者の声の設置を評価する。	無						B	・市を通しての要望・苦情、またそれにともなう個人情報の扱いは前期同様適切に行っています。苦情2件 スケートパークスタッフに対する一方的な個人攻撃の内容だったために、該当スタッフに面談等を行い問題ないことを確認しました。 「利用者の声」運用開始。投稿件数6件。 ・運動施設利用方法問合せ2・公園軽食販売要望1・公園賞賛1件 ・利用手続きの方法クレーム1件　　・湯ったり館利用料金クレーム1件	B	利用者からの声を業務に反映すること。	無				
10			安全安心・危機管理 （スポーツ振興課）	利用者満足度調査の実施と反映 ・満足度調査の実施 ・利用者満足度向上会議の開催	B	・地元戸吹町会の管理施設である、戸吹会館の活用をするように接遇研修の会場として利用しました。 ・アドプト団体であるターゲットバードゴルフ協会と連携を密にして、原っぱ広場のコンディションを良い状態に保つことを心がけた。 ・「利用者の声」は、3件。いずれも賞賛の投稿でああった。 休憩室の掲示板に公園のコメントを記入し閲覧できる「ご意見・お返事ボード」を設置し、利用者にも情報が共有できるようにした。スタッフ全員には朝礼、日報で周知するようにしました。	B	・結果を分析し、業務に生かすこと。	無						B	・国体会場であることを契機に、アドプト団体であるターゲットバードゴルフ協会、「湯ったり館」と協働事業という企画で「戸吹カップTBG大会」を開催し多摩地区から75名の参加を得た。地域への情報発信を行い戸吹スポーツ公園の独自性を打ち出すことができました。	B	引き続き利用者満足度向上のための努力を行うこと。	無				

NO	来年モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	10月 ～ 12月 指定管理者の自己評価 評価区分	コメント	所管課評価 評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	改善プラン 時期	内容	所管課確認 対応状況	次年度対応	1月 ～ 3月 指定管理者の自己評価 評価区分	コメント	所管課評価 評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	改善プラン 時期	内容	所管課確認 対応状況	次年度対応
11			安全安心・危機管理 （公園課）	地域や公園アドプト団体との連携や協働 ・利用者や地域住民との意見交換機会 ・公園アドプト団体の立ち上げ支援 ・防犯・防災対策の実施、地域の祭り・行事への協力	B	バードゴルフ協会と連携を密にして、原っぱ広場のコンディションを良い状態に保つことを心がけた。また、第二四半期で指摘のあった利用者の声については、Q＆A方式にて休憩所のコミュニケーションボードの掲示しております。内容にもよりますが、すぐに改善できるものについては、コミュニケーションボードにその旨を掲示し、理解を求めます。	B	・アドプト団体については、団体が使用する原っぱ広場を双方良好な関係で管理されている。	無					B	・国体会場であることを契機に、アドプト団体であるターゲットバードゴルフ協会、「湯ったり館」と協働事業という企画で「戸吹カップTBG大会」を開催し多摩地区から75名の参加を得た。地域への情報発信を行い戸吹スポーツ公園の独自性を打ち出すことができた。	B	・ターゲットバードゴルフとの連携は、今期も多くの協働作業で、良好な関係が保ていた。	無				
12			安全安心・危機管理 （公園・スポーツ振興課）	自主事業の取り組み ・サッカー教室、ラグビー教室、テニス教室、ウォーキング教室、ジョギング教室 ・健康維持・増進系のイベント ・ネイチャーゲーム、イニシアティブゲーム、アウトドア教室、クラフト教室	A	・環境保全学習・自然観察事業：「野鳥巣箱作り」 クラフト教室「作ろう!スリース」を実施しました。 ・スポーツ事業：「テニス大会（男女ダブルス、ミックスダブルス、ミックス団体）」「テニスクリニック」「スケートボード教室」を実施しました。 ・販売事業を実施しました。	A	引き続き、様々な自主事業を実施すること。	無					A	・販売事業を実施しました。 ・環境保全学習・自然観察事業：クラフト教室「タカ凧作り」を実施しました。 ・スポーツ事業：「テニス大会（男女ダブルス、ミックスダブルス、小中学校大会」「各種マスターズテニス大会」「スケートボード教室」を実施しました。 ・「湯ったり館」「ターゲットバード協会」協働事業「第一回戸吹カップTBG大会」を開催した。今後新しいスポーツの普及と利用促進を進めます。 ・26年度の事業計画を今年度の反省をもとに立案しました。（環境啓発イベント増設、テニス大会） ・テニスコートイベントで新たな事業を計画(テニス教室)、利用促進を図ります。	A	昨年度の反省を今期に活かしイベントを多く実施したことを評価する。。	無				
13			安全安心・危機管理 （公園課）	「八王子市戸吹湯ったり館」との連携 ・広告宣伝に関する施策 ・相互施設利用に関する施策 ・利用促進に関する施策	B	・健康維持・増進系のイベント(パークヨガ、いきいきウォーキング）を協働開催しました。 ・今後の定期的開催するよう企画を始めました。	B	・今後も定期的に利用促進に繋がる事業を立案し、実施願いたい。	無					B	・他の団体を含めた企画「第一回戸吹杯TBG（ターゲットバードゴルフ）大会」を開催した。これは「湯ったり館」と協働し、アドプト団体である「八王子TBG協会」と連携して、多摩地区や東京都全般のエリアまで対象としたイベントとして利用促進につなげるように企画したもので、今後継続して開催を実施します。	B	・懸案事項であった「湯ったり館」と連携しての企画については、今後も継続して開催願いたい。	無				
14			安全安心・危機管理 （スポーツ振興課）	広報(情報発信） ・多様な手段で公園の情報提供を行っているか ・ホームページの開設 ・イベント情報の広報掲載、チラシ配布	B	・秋のイベントシーズンを迎え、広報等の発行時期に合わせてHPのアップを行うなどの施策を実施した。 ・近隣小学校へイベントチラシ配布2校「加住、川口小学校」 ・HP更新回数16回 ・広報掲載1件　第3四半期掲載依頼3件 ・八王子市「夢駅伝」広告掲載 G八王子市サッカー協会主催「東京都ユースサッカーフェスティバル」広告掲載 ・八王子市各公園、施設へイベントポスター掲示をして頂きました。4施設。 ・地域連携民間会社へイベントポスター掲示をお願いしました。2件	B	・広範囲にわたって広報活動を行った。これらの活動がどのような効果があったか検証し、報告すること	有			広範囲の広報活動が、直接影響したかは細部の検証が必要と思われますが、25年度第三四半期までのイベント応募者数は、2,329人となり、24年度の1,211人に対して人数では1,118人、率で192%となり飛躍的向上が図ることができました。			B	・「八王子市報」への掲載をしました。2件 ・テレビ取材対応をしました。2件（NHK・ケーブルテレビ） ・八王子市各公園、施設へイベントポスター掲示をして頂きました。4施設。 ・地域連携民間会社へイベントポスター掲示をお願いしました。2件 ・コンソーシアム関連指定管理拠点との情報交換を行いました。（イベント紹介、パンフレット配布） ・八王子記者クラブへイベントの紹介を行いました。	B	今後、情報の発信が利用者増につながることを期待する。	無				

施設名：戸吹スポーツ公園

評価区分 A：目標や計画を上回る成果があったもの B：目標や計画どおりの成果があったもの C：目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

NO	来年モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	所管課年間評価		MEMO
					評価区分	コメント	
1			安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	個人情報の保護管理 ・有料運動施設の利用者の情報管理は、適切に行われているか ・要望苦情者の記録保存は適正か	B	個人情報ファイルの管理、保存は適切に行われている。	
2			安全安心・危機管理（公園課）	遊具の点検 ・年1回の専門点検の実施状況は ・日常の点検はマニュアルなどを作成して実施しているか ・日常点検後の軽微な修繕についてどのようなものがあり、実施しているか （遊具の塗装、落地部の凹凸による水溜り、砂場の補充、掘り起こし等）	A	専門点検の他、職員及びスケートパークスタッフによる点検を毎日実施しており、雨上がり後の対応などスタッフが常駐している利点を有効に活用している。	
3			安全安心・危機管理（公園課）	利用者への対応 ・利用案内等を適切に行っているか。 ・条例、規則、利用ルールやマナーに反する者に対し、適切に注意・指導を実施しているか	A	競技の大会規模に合わせたスタッフ、交通誘導員の配置が適切に行われた。また、主催者側にも人員配置を依頼するなど様々な工夫が随所にみられた	
4			安全安心・危機管理（公園課）	園路広場などの草刈り ・延べ作業面積・回数はクリアーできているか ・作業時期は適正か ・現地での要望には対応できたか。（要望の有無、有の場合は内容と対応も記入願います。） ・現地の実態はきれいか	A	年間計画に加え、各種イベントの開催に合わせた作業が随時行われていた。特に国体開催時期については、作業回数を増加させるなど、景観を考慮した適切な管理が行われていた。	
5			安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	運動施設管理 ・点検チェックシートを作成し、毎日点検をしているか ・サッカー兼ラグビー場及びテニスコートの日常点検をしているか ・サッカー兼ラグビー場及びテニスコートの定期整備をしているか ・U字溝の清掃をしているか ・日常の修繕（特にゴムチップ補充・硅砂補充・スケートパークの補修）をしているか ・備品類も点検チェックシートを作成し、適宜点検をしているか ・施設の貸し出しは、条例等を遵守しているか ・スケートパークの利用について、ルールが守られているか	A	運動施設維持管理に工夫がみられた。国体開催に向けた協力・対応を評価する。	
6			安全安心・危機管理（公園・スポーツ振興課）	人員配置・研修体制 ・事業運営を計画に沿った体制で実施しているか。計画通りの人員スタッフが確保されているか ・執行体制に工夫はみられるか ・スタッフ研修は充実しているか	A	国体開催時や大雪による人員配置等、柔軟かつ適正に行われていた。また、各種研修についても外部からの専門分野の講師を招くなど内容についても充実していた。	
7			安全安心・危機管理（公園課）	第三者委託 ・市との事前の協議など、協定書通りの執行がなされているか ・第三者委託の事業水準は適正か ・経費削減の取り組みや工夫はみられるか	B	第三者委託については適切に執行されている。また、スタッフが業務区分を広範囲にわたり理解しており、軽微な修繕等については自らなど経費削減に向けて取り組みがなされている。	
8			安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	LAS－Eに沿った事業運営が行われているか	B	適切に管理している。	
9			安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	要望苦情の処理 ・件数や傾向の推移＝年度別、時期毎 ・迅速性、公正公平性が確保され、適切に処理されているか ・個人情報の扱いは適切か	B	利用者の声を設置し、市への要望等が少なくなった。更に利用者からの要望苦情を業務改善につなげている努力をしている。	
10			安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	利用者満足度調査の実施と反映 ・満足度調査の実施 ・利用者満足度向上会議の開催	B	利用者満足度の数値を維持、少しでも向上できるよう取り組むこと	

NO	来年度期ヒアリング組番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	所管課年間評価		MEMO
					評価区分	コメント	
11			安全安心・危機管理（公園課）	地域や公園アドプト団体との連携や協働 ・利用者や地域住民との意見交換機会 ・公園アドプト団体の立ち上げ支援 ・防犯・防災対策の実施、地域の祭り・行事への協力	B	公園アドプト団体と、良好な関係を保っている。来年度以降については地域住民との連携を更に図るよう検討すること。	
12			安全安心・危機管理（公園・スポーツ振興課）	自主事業の取り組み ・サッカー教室、ラグビー教室、テニス教室、ウォーキング教室、ジョギング教室 ・健康維持・増進系のイベント ・ネイチャーゲーム、イニシアティブゲーム、アウトドア教室、クラフト教室	A	多くの自主事業に力を入れている。今年度初となる「戸吹カップ」という冠大会を開催した点を評価する。今後は他の競技、観測会等多くの事業の開催を検討願います。	
13			安全安心・危機管理（公園課）	「八王子市戸吹湯ったり館」との連携 ・広告宣伝に関する施策 ・相互施設利用に関する施策 ・利用促進に関する施策	B	湯ったり館との連携については今年度健康増進企画として、相互施設利用を実現するなど一定の成果が上がった。今後も双方の施設にとってメリットとなるよう企画を立案し、利用者増に向けた計画を行うこと。	
14			安全安心・危機管理（スポーツ振興課）	広報(情報発信) ・多様な手段で公園の情報提供を行っているか ・ホームページの開設 ・イベント情報の広報掲載、チラシ配布	B	適切に実施している。	